ゆづりは

堺市立図書館だより

第１６巻　第３号　（通巻６０号）
発行日　令和３年12月10日
編集・発行　堺市立中央図書館
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18－1
電話　０７２（２４４）３８１１
FAX　０７２（２４４）３３２１
URL　https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/

令和３年度堺っ子読書フォーラム開催

令和３（2021）年11月24日に、堺っ子読書フォーラム「子どもをはぐくむ本と食」を開催しました。

２部構成で、第１部は「堺市子ども読書活動推進計画」進捗状況の報告を、第２部は堺市出身の児童文学作家・藤野恵美（ふじの めぐみ）氏による講演を行いました。

また、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながらより多くの方にご参加いただけるよう、初めて動画配信を試みました。

第１部は、堺市子ども読書活動推進計画に基づく事業の進捗状況について報告しました。今回は、特に新型コロナウイルス感染拡大の影響についても説明しています。

第２部は講師に堺市出身の児童文学作家・藤野恵美（ふじの めぐみ）氏を迎え、「一緒に楽しむ絵本・お料理・お手伝い」と題して、ご講演をいただきました。

ご自身が好きだった絵本や、お子さんへの読み聞かせの思い出、息つく暇のない子育てを乗り切るために、お子さんがお手伝いを楽しみながらできるように工夫したというエピソード、堺市で過ごした頃のこと、またこれまで執筆してきた作品についてなど、大変貴重なおはなしをしていただきました。

「子育ての時間を思いっきり楽しんで」というメッセージが伝わる講演でした。

目次

令和３年度
堺っ子読書フォーラム開催　…1

この本で解決！
「羽毛恐竜ってなに？」　…2

南図書館に新しいコーナー２つ登場！
「堺・泉北がわかる本」コーナー
日本語学習コーナー　…2

シリーズ堺の人物
「三刀流の男　岩田千虎」　…3

司書のイチ押し　…4
『ヴァーチャル日本語　役割語の謎』

堺市立図書館電話番号一覧　…4

ゆづりは とは…

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井酔茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりしあとに
また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を超えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

この本で解決 Answer!

図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

「羽毛恐竜」とは？ その発見で何がわかったの？

「羽毛恐竜」とは、体が羽毛で覆われた恐竜のことです。1996 年に中国遼寧省で羽毛の痕跡のある恐竜化石が発見されたことで存在が明らかになりました。この最初に発見された羽毛恐竜は“シノサウロプテリクス”と名付けられました。鳥類恐竜起源説の有力な証拠とされています（『羽毛恐竜』（福音館書店　2018））。また『大人のための恐竜教室』（ウエッジ　2018）には、2009 年に発見された「アンキオルニス」が紹介されています。この恐竜は初めて全身の色が判明した羽毛恐竜とあります。

前出のシノサウロプテリクスは全長約 1m、アンキオルニスは約 0.5mと小型ですが、この 2 種は獣脚類といって、有名なティラノサウルスと同じ仲間に分類されます。実は、最新の研究ではティラノサウルスにも羽毛があったとも考えられています。

新しい本に掲載されている有名な恐竜の復元図も、姿勢や色が以前とは大きく変わってきており、この羽毛恐竜が見つかったことで、今まで発見された恐竜も含めて、新たな事実が発見されるようになりました

こうした事実は次々に図鑑や事典として出版されています。図書館には、個人で購入するには少しためらわれる豪華な図鑑や事典も貸出できるものがあります。調べものの際には、ぜひご活用ください。

『大人のための恐竜教室』真鍋真、山田五郎／著 ウエッジ 2018

『羽毛恐竜』大島英太郎 / 作 福音館書店 2018

（美原図書館レファレンス担当）

南図書館に新しい２つのコーナーが登場！

「堺・泉北がわかる本」コーナー

こちらのコーナーには、堺市や泉北地域についてわかりやすく書かれている資料を集めました。

堺市内の小中学校の教科書や泉ヶ丘、栂･美木多、光明池の緑道ウォーキングマップ、グルメ雑誌で堺を特集している号、堺市が舞台になっている小説･コミックなど、様々なジャンルを揃えています。また、パンフレットや地図といった本以外の資料も揃えています。

堺のことについて詳しく調べたり、新しい魅力を発見したいときには、「堺・泉北がわかる本」コーナーをぜひご利用ください。

日本語学習コーナー

南区には、約 3,000 人 (令和 3 年 10 月末時点) の日本語が母語でない方がお住まいです。

南図書館には「多文化資料情報コーナー」があります。今回、こちらに日本語を学習している人、日本語学習支援者に役立つ本を 300 冊以上集めたコーナーを設置しました。

日本語を初級から上級までレベル別に学べるテキストの他、簡単な日本語で書かれた短い物語などもあります。まわりに日本語を学習したい方がいらっしゃれば、ぜひこちらのコーナーをご紹介ください。

シリーズ 堺の人物

三刀流の男　岩田千虎（さんとうりゅう おとこ　いわた かずとら）

令和3(2021)年11月23日に東図書館で開催しました堺歴史文化市民講座「稀代の彫刻家千虎　～三刀流の男 岩田千虎を語る～」は、大勢の方にご参加いただき盛況のうちに終了しました。

岩田千虎（いわた･かずとら）、皆さんはご存知でしょうか。その名前を知らなくても、堺市民なら彼の彫刻をどこかでご覧になっていることと思います。大浜公園の樺太犬慰霊像、土居川公園の獅子像、フェニーチェ堺の愛の像、大阪府立農芸高等学校の牛像…。いかがですか？

大浜公園内「樺太犬慰霊像」

土居川公園「獅子像」

フェニーチェ堺「愛の像」

千虎は明治 26(1893) 年に熊本に生まれました。大阪府立農学校で獣医師の資格を得て、その後教壇に立ち、千人を超える後進を育てました。退職後は熊野町で岩田家畜病院を開業しています。彫刻に関しては、趣味が高じて職工学校で学び、二科展に入選したのが四十歳という遅咲き。「本業」のかたわら、精力的に作品を製作し、大阪では縁起物である牛像を一万頭、二十年かかって彫りあげました。日展審査員や堺美術協会初代委員長などを務め、作品は皇室にも献上されています。題材は牛以外にも馬・犬・虎・兎など動物が多く、その豊かな表情やリアルな骨格は獣医師の千虎ならではの表現でした。終生、動物を愛し、大浜公園の樺太慰霊犬像がいたずらされたときは、「かわいそうに」と怒り泣きながら修理してまわったというエピソードが残っています。

古希を迎えた千虎は、堺の十の公園に年に一作ずつ彫刻を寄贈することを決めました。その第一作目が大仙公園に立つ「百舌鳥耳原由来の像」です。百舌鳥駅から中央図書館に来館する方にはおなじみですね。モズを手にとめられた仁徳天皇が鹿と語らっている像です。

大仙公園「百舌鳥耳原由来の像」

しかし、昭和 41(1966) 年、教師・獣医師・彫刻家の三刀流の業績を全うして千虎は 72 歳の生涯を閉じたのです。残念ながら千虎の死去により寄贈の約束が果たされることはありませんでした。

講演企画中に講師の南明弘先生から、千虎は図書館とも縁があるんですよと、新聞記事を見せていただきました。昭和 17(1942) 年 9 月 9 日の朝日新聞夕刊、千虎が当時宿院にあった堺市立図書館に呂宋助左衛門の像を寄贈したという記事です。残念ながら、宿院の図書館は戦災で焼け、像の行方も定かではありません。図書館には記録も残っておらず、この記事以外の資料は見つかっていません。もし何かご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひ、図書館に情報をお寄せください。

【参考文献】
『千虎展』堺市立東文化会館　2019 年 9 月
『河内町史　史料編第 6』河内町　1991 年 1 月
『創立百周年記念誌』大阪府立農芸高等学校　2018 年 3 月
（p.102 松原市『広報まつばら』2017 年 1 月の記事が転載されている）
『九州人国記』熊本日日新聞社 1966 年

郷土資料展
「『堺かるた』で見る堺の歴史」のご案内

昭和 51(1976) 年に誕生した『堺かるた』。2 年後には『続堺かるた』が、令和 3 年には『もののはじまりなんでも堺かるた』が作られました。これらのかるたにスポットをあて、かるたで紹介されている内容について、図書館所蔵の関連資料を展示しながら堺の歴史について紹介します。

日程：令和 4(2022) 年 1 月 8 日（土）～ 1 月 30 日（日）
場所：中央図書館 1 F ロビーにて

司書のイチ押し

ヴァーチャル日本語 役割語の謎〈もっと知りたい！日本語〉

金水 敏 / 著　岩波書店　2003

「そうじゃ、わしが知っておる」
「そうですわよ、わたくしが存じ上げておりますわ」

突然ですが、みなさんはこの二つの文を読んで、どのような人物を思い浮かべますか。上の文では、博士のような年老いた人物を、下の文では若い女性を思い浮かべた人が多いのではないでしょうか。どちらも意味は同じ「はい、私は知っています」ですが、抱く印象は大きく違っているかと思います。

日本語には、このように特定のキャラクターと結びつく特徴的な言葉遣いが存在しています。先述した言葉遣い以外にも「そうじゃ、拙者が存じておる」といった武士ことばなどがあり、これも言葉遣いからその人物の容姿や性格を想像できる人が多いと思います。

しかし、現代の日本でこのような言葉遣いをする人々を見たことがある人は殆ど居ないはずです。にもかかわらず、私たちはどうして特定の人物像を思い浮かべることができるのでしょうか。その謎に迫ることができるのが、今回紹介する『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』です。著者の金水敏氏は本作で前述のような言葉を「役割語」と呼んでおり、この研究の第一人者といわれています。本作の後にも役割語に関わる書籍を多く出版されています。

金水氏は役割語を「現実の日本語とは別の、でも確かに存在する日本語」であるとして“ヴァーチャル日本語”と呼んでいます。「にせ物の現実」と「ほんものの現実」の境界を曖昧にする役割語という不思議な言葉を解き明かしていくことで、金水氏は日本語にとって、さらには言語にとっての「現実」とはなにか、という点にまで迫っていきます。

本作では、話者に特徴のあるいくつかの言葉遣いを取り上げ、有名な小説や漫画の台詞、キャラクターを分析し、その言葉が使われていた時代背景に目を向けることで、それらがどのようにして役割語として認識されるようになったのかが説明されています。書名のとおり「謎」として問題提起がいくつもあり、著者と一緒に言葉の歴史を辿りながら謎を解き明かしているような気分になれるところが、この本の面白さではないかと思います。

なお、役割語を考える前提として「ステレオタイプ」という概念が紹介されています。言語学の面だけでなく社会心理学の面からも、小説や漫画を読むときだけに限らず、日常生活全般において私たちが新しい人やものに出会ったとき、どのようにそれらを認識しているのかというメカニズムについても説明されています。

私たちが物語を読むにあたり、当たり前のように存在している「役割語」。この本を通じて、その奥深い世界に触れてみませんか。（Y・K）

☎ 堺市立図書館電話番号一覧 ☎

中央図書館	244-3811	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
くすのき号	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
堺市駅前分館	222-0140	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター舳松人権歴史館	
中図書館	270-8140	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
東百舌鳥分館	234-9600	栂分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
		美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011

音声応答サービス　280-0415　ホームページ URL　https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/

配架資料番号　1−K3−21−0105